

学校名 朝霞市立朝霞第四中学校
所在地 朝霞市栄町5-1-60
電話 048-466-4711

1 本校の概要

本校は東武東上線朝霞駅より徒歩10分ほどに位置し、開校35年目を迎える歴史を持っている。周辺には市立図書館や総合体育館、中央公園野球場、陸上競技場などの施設があり、教育的に充実した環境にある。「自主」「協力」「健康」を校訓とし、「自ら学ぶ生徒」「心豊かな生徒」「たくましい生徒」の育成を教育目標としている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

読書活動の充実

(2) 実践の概要

朝霞市で平成15年より全校に配置した学校図書館サポートスタッフと学校図書館司書教諭との連携により、学校図書館教育の充実に努めている。

ア《朝の読書活動》

始業前の朝10分間を「広沢タイム」との名称で、全校で朝の10分間読書を月曜から金曜にわたって取り組んでいる。生徒たちは休み時間なども続きを読むことによって読書の習慣が定着している。

イ《1000ページ読書運動》

生徒会の委員会活動を中心に「1000ページ読書運動」を展開している。朝の読書時に「1000ページ読書カード」を配布して、読書記録をつけている。1000ページ読書達成者には表彰状と手作りの記念しおりを渡して顕彰している。達成者は引き続き2000ページへと進んでいる。



ウ《出前図書館》

4階は1学年の教室が並んでおり、2階の学校図書館とは離れているため、図書館のアピールの必要性と国語の読書案内ということからスタートした取組である。学校図書館の本を1年生の国語の学習にあわせて選書し、「出前図書館」という名称で4階廊下に設置した企画である。授業の関心、意欲を広げ、読書活動への発展学習に貢献している。



エ《学校図書館の活用による学習活動》

1学年の進路学習において、学校図書館の本の中から進路関係の本を活用し、「職業新聞作り」取り組んだ。また総合的な学習の時間では、郷土学習をテーマとした調べ学習に、図書館の本を資料としてレポートを作成した。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

全校でも約80%以上の生徒が毎日読書活動を進んで行き、言語活動の展開を支える環境を作り上げている。

(2) 課題

今後は読書活動の内容的な向上を考えていく必要がある。そのために、進んで読書に親しもうとする生徒の育成を目指し、学習活動で読書活動を積極的に推進していくことが大切である。

